

総合防災特集2018

## 東京都協

# 垣見油化瑞穂充填所で稼働訓練

## あらゆる局面に対応できる現場力を

東京都LPガス協会（尾崎義美会長）は8月2日、

東京・瑞穂町の垣見油化瑞穂充填所で「平成30年度東京都中核充填所稼働訓練」を行った。中核充填所11事業所と一般充填所、販売事業所から約80人が参加した。

訓練開始にあたり、清水大中核充填所部会委員長は「内容は毎年少しずつ変化している。今回は停電を想定し非常用発電機を使用した訓練のほか、バーコードを使用し他社容器に対応する充填などを新たに組み込んだ。今回の経験を生かし、さらに改良していただきたい」とあいさつした。

来賓の谷浩資源エネルギー庁石油流通課LPガス担当企画官は「災害



清水委員長

時は想定外の場面が多いが、訓練で培われたことをもとに、何ができるかを考えて行動してほしい。災害で起こり得るあらゆる事象に対応できる現場力を期待する」と述べた。

訓練会場を代表して垣見裕治垣見油化社長が「当充填所は70tタンク2基、最新の回転式充填機など都内最大の施設を有している。最後の砦といわれることに恥じないよう訓練をしっかりとやり遂げ、LPガス業界の役割を果たしていきたい」と意気込みを語った。

訓練では、首都圏直下を震源とするマグニチュード7、震度6強の地震が発生し、東京電力からの送電が停止したと想定。協会事務所も被害を受けたため、第2の中央本部であ



谷企画官

る垣見油化瑞穂充填所に中央本部を設置して各訓練を行った。

訓練内容は①MCA無線機による情報伝達②衛星電話による情報伝達③充填所設備の安全確認④非常用LPガス発電機稼働⑤他系列容器充填⑥LPG車充填⑦LPガス炊き出し――の7項目。

午前7時、MCA無線機を所有する事業所に訓練開始の連絡を一斉配信し、着信後タイムテーブルに基づき返信を求め、6地区に分けた被災状況を報告した。

閉会式であいさつした平本知範東京都協副会長は「これからも訓練の内容に変化を加え、次回につなげていくよう努めていきたい」と締めくくった。



垣見社長



回転式充填機



MCA無線機による情報伝達

## あらゆる局面に対応できる現場力を

### 東京都協 垣見油化瑞穂充填所で稼働訓練



東京都LPガス協会（尾崎義美会長）は2日、平成30年度東京都中核充填所稼働訓練を東京・瑞穂町の垣見油



他系列容器充填訓練の様子

化瑞穂充填所で行った。中核充填所11事業所と一般充填所・販売事業所から約80人が参加した。

訓練開始にあたり中核充填所部会の清水大委員長「写真上」は、「内容は毎年少しずつ変化している。今回は停電を想定して非常用発電機を使用した訓練やバーコードを使用し、他社容器に対応する充填などを新たに組み込んだ。今回の経験を生かし、さらに改良

していただきたい」と挨拶した。

来賓挨拶した資源工ネルギー庁の谷浩企画官は、「災害時は想定外の場面が多いが、訓練で培われたことをベースに何ができるか考えて行動していただきたい。災害で起こり得るあらゆる事象に対応できる現場力を期待している」と述べた。

また、訓練会場を代表して垣見油化の垣見裕治社長が「当充填所は70メートル基、最

新回転式充填機など都内最大の施設を有している。最後の砦（とりで）と言われることに恥じないよう、訓練をしっかりやり遂げてLPガス業界の役割を果たしていきたい」と意気込みを述べた。

訓練では、首都圏直下を震源とするマグニチュード7・震度6強の地震が発生したと想定。地震により協会事務所も被害を受けたため、第2の中央本部である垣見油化瑞穂充填所に中央本部を設置。地震により東京電力からの送電が停止したとして行った。

訓練内容として、①MCA無線機による情報伝達②衛星電話による情報伝達③充填所設備安全確認④非常用LPガス発電機稼働⑤他系列容器充填⑥LPG車充填⑦LPガス炊き出し――の各訓練を行った。

午前7時にMCA無線機を所有する事業所に訓練を行う旨の連絡を一斉配信。着信後、タイムテーブルに基づき返信を求め1〜6地区に分けた被災状況を

報告した。

閉会式で平本知範副会長は、「これからも訓練の内容に変化を加え、次回につなげていくよう努めていきたい」と締めくくった。

## 団体情報

### 都協、中核充填所稼働訓練

#### 非常用発電機稼働、他系列容器充填など

(社)東京都LPガス協会は2日、東京・西多摩郡の垣見油化(株)瑞穂充填所で中核充填所稼働訓練等を実施した。中核充填所会員など80人が参加した。清水大・都中核充填所部会委員長は「自然災害が頻発し、中核充填所の存在は益々重要なものとなっている。非常用発電機を起動し、他系列容器への充填訓練などを追加しリニューアルした。万一の際に稼働できるように手順等を確認して欲しい」と述べた。



清水委員長



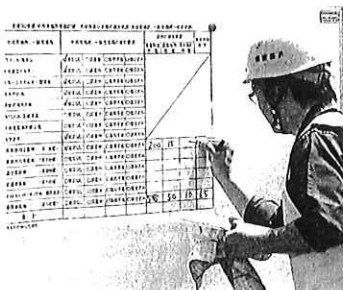
垣見社長

来賓からは池田裕治・都多摩環境事務所管理課課長が「災害は季節を問わず発生する。体調管理にも常に気を付けて欲しい」、谷浩エネ庁石油流通課企画官が「現場力が求められる。体に覚え込ませて欲しい」と挨拶。垣見裕司・垣見油化社長は「当充填所は社会的インフラとして貯槽や充填機など全てダブルシステムとし、自家発電機も備えた。最

新式12連充填機を導入し、太陽光パネルも充填所の屋根に設置している。万一の際に自前のローリで取りにいける体制だ。万全を期し、役割を果たして行きたい」と挨拶した。

訓練は首都圏直下を震源とするM7 震度6強の大地震により協会事務所が被害を受けたため、第2の中央本部となる同所に本部を設置、停電した想定で①自衛消防隊による充填所の安全確認②非常用発電機の稼働③共通バーコードによる他系列容器の充填④LPG配送車への充填一等が行われた。訓練に先立ちMCA無線機(mc-Access-e 無線通信システム)による訓練実施の送信と参加人数報告の通報訓練\*、同機による情報伝達訓練、衛星電話による情報伝達訓練が行われた。

\*午前7時に同機配備事業所に一斉に訓練実施の送信を行い、事業所は参加人数の報告を返信





# 都協中核充てん所訓練

## 都内最大級の垣見油化で80人参加

最新の電子式回転充てん機を用いて他系列容器に充てん



東京都LPガス協会は2日、垣見油化瑞穂充てん所で2018年度東京都中核充てん所稼働訓練を実施した。垣見油化は都内最大級の70トタンク2基などの設備すべてにダブルシステムを採用しており、災害に非常に強い。冒頭、清水大都協中

化社長がそれぞれあいさつした。谷企画官は「現場力が問われるのが実際の災害。訓練のための訓練ではなく、いざというときに動けるようにしてほしい」などと要望。垣見社長は東日本大震災の計画停電時に自家発電で充てんを継続

核充てん所  
部会委員  
長、谷浩資  
源エネルギー  
一庁石油流  
通課企画  
官、池田裕  
治多摩環境  
事務所管理  
課長、垣見  
裕司垣見油

し続けた経験や社屋、充てん設備の屋根（都内初）に設置されている太陽光パネル、さまざまなシナリオをにもとづき実践的にリニューアルした自社の防災訓練など紹介し「第5次エネルギー基本計画でもLPガスは災害時の最後の砦といわれるが、充てん所や配送がきちんと機能しているのが前提」と災害時対策の重要性を訴えた。

部や各社をつなぎ伝達する訓練に続き、垣見油化の自衛消防隊による充てん設備の安全確認訓練を実施した。炎天下のなか、転倒したポンペをカプセルに入れ搬送するなどの動きをきびきびと実践した。他系列容器充てん訓練では最新の12連電子式回転充てん機を使用。その静粛性に関心が集まった。その後、非常用LPガス発電機の稼働・LPガス車充てん・炊き出し訓練を行い終了した。

訓練には都協事務局・各地の中核充てん所・充てん所などから総勢80人が参加。MCA無線機・衛生電話を用いて災害発生時の被害状況などを災害対策本